

令和2年7月29日（水）

第7回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 令和2年7月29日(水) 午後2時
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 倉部 俊治 委員 長谷川浩子  
委員 足立 俊弘 委員 蒲田 知子  
委員 村松 弘康
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員  
教育総務部長 丸 智彦 生涯学習部長兼鳥の博物館長 木下登志子  
生涯学習部次長兼公民館長兼生涯学習センター長兼生涯学習課長 菊地 統  
生涯学習部参事兼文化・スポーツ課長 小林由紀夫  
総務課長 森田 康宏 学校教育課長 鈴木与志実  
指導課長兼小中一貫推進室長兼少年センター長 戸塚美由紀  
教育研究所長 遠藤 美香 図書館長 宇賀 神修
6. 欠席事務局職員 な し

午後2時00分開会

○倉部教育長 ただいまから令和2年第7回定例教育委員会を開会いたします。

---

#### 会議録署名委員指名

○倉部教育長 日程第1、我孫子市教育委員会会議規則第31条の規定により、会議録署名委員を指名します。足立委員にお願いします。

---

#### 諸 報 告

○倉部教育長 日程第2、諸報告を議題とします。

まず初めに、新型コロナウイルス感染症に関する学校の対応について、報告をお願いします。

○丸教育総務部長 新型コロナウイルス感染症対応等について、6点説明をさせていただきます。

まず1点目として、修学旅行及び林間学校の中止についてです。教育委員会及び校長会で何度も話をしておりまして、とにかく子どもたちを何としても行かせてあげたいという気持ちで取り組んでまいりました。その中で旅行業者の取組や受け入れ先である京都市などの態勢等を踏まえ、感染症対策等は万全になりつつあるということで、実施する方向で考えていたところでした。しかし、中止となってしまった理由として、1つ目は、6月の下旬ごろから保護者の通勤圏である東京から感染者が増えてきたことです。子どもたちの生活圏というのは狭く、実際に新型コロナウイルス感染症に罹患するのは、家族からの感染が一番懸念されるのではないかと考えています。そこで、保護者の通勤圏から感染者が多くなったということが一つの大きな理由です。

2つ目は、もし子どもたちが修学旅行や林間学校に行く前に罹患してしまったとき、その際に該当の子の精神的な痛手というのは大変大きく、フォローす

ることが難しいということ、これが2点目です。この2点の理由から、本当に苦渋の決断ではありますが、中止ということで、6月30日付で保護者に通知を出しました。

もうしばらく様子を見てもいいのではないかという話もあったのですが、中学校では8月24日から修学旅行が予定されており、グループでの行動計画等を決める段階でした。その辺を考えると、今が決断する時期だということで中止を決定しました。その後、各校の校長から子どもたちへ報告しました。子どもたちは落胆していましたが、現状を考えたら仕方がないということで、一定の理解は得られたのではないかと思います。保護者からの連絡など、大きな混乱はありませんでした。なお、代替の行事については、現在各校とも検討中です。実際に、学校によっては、学校内でキャンプファイヤーをやってみようとか、肝試しをやるうとか、そんなことを今子どもたちとともに考えているところですよ。

続きまして、2点目です。7月1日付現在の登校状況を指導課で調査しました。初めに新型コロナウイルス感染症を理由に学校を休んでいる子どもの数は、小学校で5名、中学校はいませんでした。理由は、母親が病気にかかっている、もし新型コロナウイルス感染症に罹患してしまうと、もっと大きな病気になってしまうということで子どもを休ませる、これが2件。それから、子ども自身の病気があるので、一応入院をさせるということで1件。あとは罹患することが心配ということで2件です。トータル5件となっています。

今週1週間で1学期は終了しますが、感染者が増加している現状で、学校によっては「今週1週間は学校を休みます」という子どもに関しても、かなり数が多くなってきたようです。

次に、欠席はしていないが、長期の臨時休校などから登校を渋る子どもの数です。小学校で40名、中学校10名、計50名が登校を嫌がっています。学

校には来ますが、そういった気持ちの子どもがたくさんいます。理由は、母親から離れられない、学校の生活時間に対応できない、対応としては、保護者との連携を密にして、子どもたちに無理強いをしないように徐々に進めていくような形をとっています。これに関しては、少しずつ改善をしていると聞いております。

3点目、学習状況についてです。小学校の主要4教科、中学校の主要5教科に関しては、通常の進度からは遅れていますが、内容については、「順調に進めています」と聞いております。

令和2年度は、4月6日、7日の2日間の登校をした後に、長期の臨時休業という形になりました。この臨時休業によって、34日分の授業日数が減となっています。その対策として、夏季休業で14日分、冬季休業で2日分、県民の日を登校することによって1日分足して、トータル17日分は授業日数を確保しました。委員の皆様にはお伝えしましたが、学年に応じて5時間目とか6時間目とか、7時間目とか、そういう時間を設定することで1コマの追加による補充授業を行うことで、年間を通して7日から10日程度が確保できます。

あとは運動会、体育祭、文化祭、歌声発表会などの学校行事の練習時間の縮減や学校行事を合わせて開催するなどにより、3日から5日程度が確保できるだろうと考えております。

さらに、学習活動の重点化です。練習問題等に関しては、なるべく家庭学習という形にして、学校内でしかできない学習活動に重点を絞り、不足分の授業日数を補っていくことにしています。

何よりも授業というのは、子どもたちのために行うものです。子どもたちが授業を通して、理解できたとか、勉強して楽しいとか、そういったものでなければ授業としては成立しないというふうに考えております。

今までの経験則にない生活を強いられている中で、教職員も本当に創意工

夫しながら授業を行っていますが、授業は、子どもたちのためにあるのだということを基本に、今後も進めていくよう、教育委員会として支援していきたいと思っています。

4点目は、夏季休業についてです。通常は7月21日から8月31日です。今年度は、8月1日から8月20日までの20日間、例年の半分程度という形になっております。したがって、夏休みの課題は、かなり削減しています。ある学校では、夏休みのドリル関係が1冊だけです。もっとできる子は、理科やポスター制作や図工関係の課題をやるということで、かなり削減しています。子どもたちや教職員に少しゆっくりしてほしいと思う反面、子どもたちは、長い臨時休業から学校が始まって、学校の生活リズムに慣れてきたところでの夏休みなので、生活リズムに関しては、各学校から子どもたちに十分指導していきます。この20日間が、事件・事故のない夏休みになるよう、事前指導を徹底していきたいと思っています。

5点目、令和2年度の第2学期についてです。通常は、9月1日から12月23日が2学期の期間です。今年度は、8月21日から12月24日としました。なお、通知表に関して、我孫子市は3学期制を敷いているのですが、今年度はなかなか厳しいところがあります。したがって、中学校3年生を除く学年では、10月と3月に評価を行います。通知表は、10月と3月の2回となります。中学校3年生は受験を控えていますので、3学期制と同じように、3回という形にしています。中学校の通知表を渡す時期は、10月1日か2日と予定していますが、多少ずれることがありますので、御了承ください。お願いいたします。

最後に、今後の学校行事についてです。条件がきちんとそろわなかったら、中止もやむを得ないと思っています。本来、2学期は、行事がめじろ押し、運動会、体育祭から始まってマラソン大会で終わるとか、そういった形で行事多

くありますが、今年度は、中止や規模縮小がほとんどです。本当に子どもたちには、悲しい思いをさせてしまうと心を痛めているところです。ただ、それに代わる行事を行うことで、子どもたちに達成感を味あわせてあげたいと思っております。各学校とも工夫を凝らした思い出に残る形にしたいと、子どもたちとともに考えながら検討しているところです。以上、感染症対応についてです。以上です。

○倉部教育長 ありがとうございます。以上で報告が終わりました。

ただいまの報告について御質疑あるいはご意見等があれば挙手をお願いします。——よろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないようですので、報告に対する質疑を打ち切ります。

続きまして、ヤング手賀沼の取組について報告をお願いします。

○遠藤教育研究所長 ヤング手賀沼について、報告します。7月8日の朝5時ぐらいに、建物の漏水のため、機械整備のセンサーが壊れてしまったので、センサーを取り外していかどうか警備会社から連絡がありました。その後、すぐに部長に連絡し、ヤング手賀沼に向かったところ、2階から1階にかけて、コホミン側の壁に雨漏りがひどく、そちら側の壁に電気系統が全部重なっているため、警備会社からも、「このまま使っていると漏電を起こして火事になる」と言われました。そこで、その日は、ヤング手賀沼をお休みにさせていただいて、今後どうするか検討し、対応させていただきました。

現在、ヤング手賀沼は、コホミンの調理室と第一学習室を借りて、1学期間はそこで活動していただくということになっています。視察に行ったら、子どもたちもいい顔で活動していました。また、調理室は、中からではなく、後ろから入れるように工夫してくださっていました。参加人数は、今のところ、以前と変わらず、みんな参加しています。

2学期からについてですが、教育長や部長とも相談しまして、コホミンを使う団体さん等もいるため継続して同じ場所を使えないので、文化・スポーツ課と協議をした上で、団体さんにも協力していただいて、地域交流教室を1か所開けていただきました。2学期は、教育研究所の下で、ヤング手賀沼を開催させていただくという状況になっています。以上です。

○倉部教育長 ありがとうございます。建物の漏水で、突然、部屋が使用できない状況になってしまったのですが、今、ヤング手賀沼は非常に機能しており、子どもたちの避難所として、とても大事な場所ですので、引き続き活動するための工夫をしています。こういったことを含めて、今後、ヤング手賀沼はどのようなふうに活動していくか、考える機会だと思いますので、年度を通じて、今後に向けた検討をしていきたいと思っています。

ただいまの報告について何かご質疑、ご意見等ありますでしょうか。よろしいですか。

○蒲田委員 利用しているお子さんの数が減っていないということを聞いて、とても安心しています。場所が移ったことにより、不安になったりして、やめようかなという子どもたちが出ていないか心配したのですが、それでも行ける場所があることが、とてもよかったと思います。また場所が移動するとどうなるか分からないのですが、子どもたちの居場所の確保に力を注いでいただきたいと思っています。よろしく願いいたします。

○倉部教育長 ご意見ということでよろしいですか。ほかによろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないようですので、ただいまの報告に対する質疑を打ち切ります。

次に、事前に配付された事務報告、事務進行予定資料等に補足する説明等



はありますでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 特にないようですので、これより事務報告に対する質疑に入ります。事務報告に対する質問等がございましたら挙手をお願いします。いかがでしょうか。

こういう状況ですので、通常に比べて事業数が非常に減っておりますが、やれるものについては工夫しながら、それぞれの担当で代えさせていただいています。特によろしいですか。

今机上に配付されている志賀直哉展のパンフレットをご覧ください。先日、副市長と一緒に志賀直哉展、それから杉村楚人冠記念館、この発表を見に行きました。「志賀直哉展－山田家コレクションを中心に－」志賀直哉の子孫である山田家寄贈資料の展示ということで、本当はもっと早くからご報告し、見ていただける準備をしていたのですが、ようやく視察することができました。大変おもしろいです。いつもおもしろいのですが、何が一番おもしろいかというと、学芸員の話が一番おもしろい。ですから学芸員の話聞けるような形で、ぜひぜひ皆さんに行ってほしいです。今回の志賀直哉展で山田家からいただいたものの中で何がおもしろいかというと、たくさんの写真です。ふだん見られないような写真が非常に多いです。なおかつ、山田家というのは志賀家との関わりもありますが、実は大久保利通とか、ビッグネームの家系ともいろいろな縁続きでして、そういうつながりがよく分かるような展示になっています。ですから白樺だけではない、いろいろな興味を広げるような展示になっていますので、よろしければぜひ行ってくださいというのが私の素直な気持ちです。

「楚人冠と湖畔吟社」は、逆に言うと市内に関わった人たちとの展示になっていますので、ふだんとは違う展示だと思います。もっと身近に感じながら、見られると思いますので、これについてもぜひぜひお願いします。

実は、山田家の資料は、今後もっと増える可能性があります。学芸員が非常に活躍していて、山田家の方との信頼を得ておりますので、場合によっては寄贈ということが増えています。それで心配なのは、今の段階では、展示するスペースが少ないことです。今後、白樺文学館をリニューアルしたいという計画はあるのですが、その辺がなかなかできませんので、今、生涯学習課で計画ができるとすれば、今回、山下清展がアビスタ2階全てを使って実施するという方法をとるのですが、今後、この白樺に関わる展示物も、できれば年に1回ぐらいアビスタを開放して実施するというように工夫できたらよいと思います。その辺についての考え方を菊地センター長に聞いてみましょうか。どうでしょうか。

○菊地生涯学習センター長 アビスタのギャラリーは、ガラスで展示できるところが数か所あります。大きく言えば、ガラスケースの中で安全に保管できる場所については、3か所あります。それから壁に貼れるようなスペースなどもありますので、そういったところを活用させていただければと考えています。

11月から12月にかけて実施する山下清展につきましても、そういった工夫をして、市民の皆さんに見ていただくような場所として、ギャラリーを開放する予定です。生涯学習センターアビスタとしては、生涯学習施設としてコラボをしながら、鳥の博物館や白樺文学館、杉村楚人冠記念館など、いろいろなところとコラボして皆さんに見ていただけるような場所を今後設置していきたいと考えております。

○倉部教育長 ぜひよろしく申し上げます。アビスタでやることによって、市民図書館の書籍類とのコラボレーションもできますので、通常の単なる展示だけではなく、我孫子市の生涯学習部の力というものをぜひぜひ見せていただければ幸いです。今後よろしく申し上げます。

○菊地生涯学習センター長 分かりました。

○倉部教育長 ほかに事務報告についていかがでしょうか。よろしいですか。

○蒲田委員 杉村楚人冠記念館に行ってきたのですが、ソーシャルディスタンスを取れるよう和室入室時の工夫やタブレットの使用中止など、お客様の安心を得るための工夫がされていることがよく分かりました。様々な対策が取られていることを知ってもらうことも大事だと思いました。

鳥の博物館に行きましても、2メートル30センチぐらいの翼を広げたアホウドリのシルエットや高さのあるダチョウなどがあり、ソーシャルディスタンスを意識できるような、鳥の博物館ならではの工夫をしていると感じました。それがおもしろいと子どもたちが見ていましたので、小さな工夫ですが、皆さんに安心して来てもらって、おもしろいと思ってもらえるように、これからも続けてほしいと思いました。ありがとうございます。

○倉部教育長 ご意見ということでよろしいですか。私も鳥の博物館に行きましたが、あの2メートルはいいですね。動物の体によって距離が分かるという工夫はとてもよかったですと思いますので、さりげない工夫だと思います。ありがとうございました。

ほかによろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないようですので、事務報告に対する質疑を打ち切ります。

次に、事務進行予定についてご質問があれば挙手をお願いします。いかがでしょうか。

○蒲田委員 9ページ、事務進行予定、「テーマトーク」が今回8月もオンラインで実施となっています。7月分の事務報告はこれからになると思いますが、私が7月テーマトークをオンラインで見たときに、170人を超えるような人数の方たちがオンラインで参加しているのを見て、通常だと、多くても50人しか入らないようなところですが、オンラインでそれだけの人数の方が参加で

きたのは、コロナウイルス感染症対策のおかげだと思っています。ふだん来られないような遠方にお住まいの方も見ることができ、「鳥の博物館って、こんなことをしていておもしろいな」と思ってもらうためのすごくよい機会だったと思います。

また山階鳥類研究所と共催ということで、鳥の博物館の学芸員と山階鳥類研究所が協力し、役割分担を明確にしている、とてもよい企画だったと思います。次は山階鳥類研究所の方が講師ということですが、このような楽しい企画を実施していることを知ってもらえるチャンスだと思います。こういうときだからこそ、違う形でPRをして、おもしろいな、また行こうかなと思ってもらえる企画をいろいろ考えていただきたいと思いました。

○木下鳥の博物館長 ご参加ありがとうございます。ZOOMで実施したのですが、当日は200人を超える登録者があり、最大177人が見えていました。今まで参加したいが、ちょっと行くのが遠いというようなお声もいただきましたので、お話にありましたように遠方の方にも参加してもらいやすい機会になりました。今までとは違った意味でのアピールにもなったのではないかと思います。

今回、私も見ていたのですが、おもしろいと思ったのは、司会進行が山階鳥類研究所で、発表は鳥の博物館の主任学芸員、チャットも使いながら、ライブで「これはどういう意味でしょう」とか「ここはどうなのですか」というご意見がずっと出るのですが、それを司会進行役が集計して、発表が終わった後に「ではご意見について答えていきます」という形式を取ったので、効率的でよかったです。それから皆さんからいろいろなご意見が出たので、通常だったら45分で終わるのですが、20分ぐらいオーバーして大盛況でした。オンライン開催のやり方としてもいろいろ学ぶところ、得るところが多かったと思います。手法も含めて、今回こんなに多くの方が参加してくださったので、8月は

さらに工夫できるように現在検討しているところですので、8月も多くの方にご参加いただけるようにしたいと思っています。ありがとうございます。

○倉部教育長 ほかにいかがでしょうか。事務進行についてよろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。

次に教育事業全般について、ご質問あるいはご意見等があればお願いします。

教育事業全般といいますと、最初に報告のありましたコロナウイルス対策が一番喫緊の課題であり、最大の問題点かなと思っています。先ほどの報告にあるとおり、それぞれの学校等の現場でも、それから生涯学習の施設の中でも工夫をしながら対応を取っておりますので、これについてはしっかり教育委員会として見守っていきたいなと思っております。

ほかに特によろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないものと認めます。以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。

---

○倉部教育長 ただいま事務局より追加議案が提出されました。追加議案については日程に追加し、直ちに議題としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 御異議ないものと認めます。

---

#### 追加議案第1号

○倉部教育長 追加議案第1号、GIGAスクール構想タブレット型端末第1次購入契約の締結について、事務局の説明を求めます。

○戸塚指導課長 G I G Aスクール構想タブレット型端末第1次購入契約の締結についてです。提案理由ですが、G I G Aスクール構想タブレット型端末第1次購入契約の締結に向け、議会に上程されるよう、市長に依頼するものです。

今回、市内の小中学校にタブレット型端末を2, 157台購入することになります。契約の相手は大塚商会となっております。よろしくお願いいたします。

○倉部教育長 ありがとうございます。以上で説明が終わりました。質疑があれば挙手をお願いします。特によろしいでしょうか。

当初は、ちゃんと入札、落札という形が取れるかどうか心配していたのですが、幸いなことに数社が参加をして、大塚商会が落札、業者が決まりました。あとは正式な契約が終わった後、予定どおりに納入されるかどうかという心配はあるのですが、極力それについてはしっかりとできるような形で進めてまいりたいと思っています。

特に質問がないようですので、議案に対する質疑を打ち切ります。

---

○倉部教育長 これより採決いたします。

追加議案第1号、G I G Aスクール構想タブレット型端末第1次購入契約の締結について、原案に賛成の委員は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

○倉部教育長 挙手全員と認めます。よって追加議案第1号は可決されました。

---

○倉部教育長 続きまして、追加議案第2号、令和3年度使用小・中学校用教科用図書、文部科学省著作教科書、拡大教科書及び学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択については秘密会とすることを発議しますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 御異議ないものと認めます。よって追加議案第2号の審査は秘密会とすることに決定されました。関係者以外の職員及び傍聴者の皆さんの退席をお願いします。

(関係者以外退席)

---